

今月は、砂漠の王国を舞台にしたファンタジーを紹介します。

『漂泊の王の伝説』

ラウラ・ガジェゴ・ガルシア／作 松下 直弘／訳 偕成社 2008年 ¥1500(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年★☆☆ 中学生★★★★

高校★★★★ 一般★★★★

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

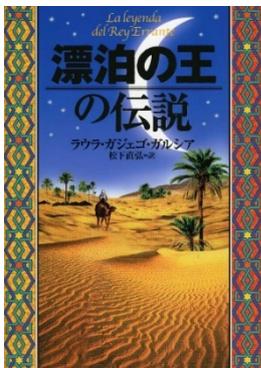
<本の紹介>

砂漠の王国キンダの王子ワリードは、詩の才能にあふれた貧しい絨毯織りハンマードに嫉妬し、「人類の歴史をすべて織り込んだ絨毯を作れ」と難題を押し付けた。何かに取り付かれたかのようにその仕事をやり遂げ、死んでしまったハンマード。そして、完成した絨毯は、この世にはありえない超自然的なものだった。その後絨毯は盗まれ、ワリードは、絨毯を取り戻すために砂漠へと馬を走らせる。

砂漠をさまよい、さまざまな経験をしたワリードが選んだ道は？ 運命に翻弄され、導かれた先に何があるのか？ 読み応えのあるファンタジー作品です。

<子どもに手渡す時のポイント>

大きめの文字でふりがなも多くついていて、読みやすい本です。物語としてもすっきりとわかりやすく、ワリードの冒険にわくわくハラハラしながら一気に読み進めることができます。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。